



マロシヤ船渡来一件

863
5



国立国会図書館 タイトル『マロシヤ船渡来一件』 請求記号 863-5

ガラス使用

三

五
才口シヤ船渡来一件

五
才口シヤ船渡来一件

三
才口シヤ船渡来一件

三
才口シヤ船渡来一件

三



子二月十日

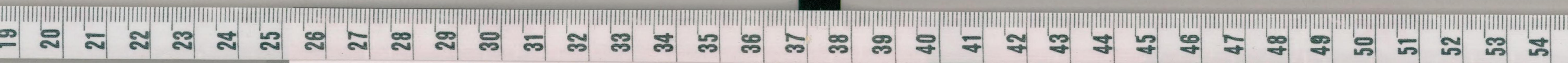
今得高比神々意、疑文ハ中ロシヤ船出主ノ使書
之込入レサノット船取テキル中出ル船ヲモヤヤ

一 中ロシヤ船一艘、曆敷子八百二年八月十日、厚知日本出帆仕
テ、子ニルク、内コツベ、バノガアナリヤ、海洋、南アメリカ別、ロブラエリ
國史、南海、月一曆敷子八百四年九月十日、高子カシカツタ
至、日、九月十日、高子八日、日本出帆仕、今日、是二十日、を、經海、上、山、家
若、冠、仕、吉、一、艘、を、外、山、南、地、に、渡、来、之、私、案、仕、ル

一 今、叙、使、書、之、込、入、渡、来、仕、以、後、ハ、中、ロ、シ、ヤ、船、主、ノ、江、府、江、之、使、書

并、由、奉、以、之、ハ、古、寫、書、持、以、以、候、中、出、ル、才、古、書、箱、沖、出、由、使、控
使、上、之、者、知、中、ロ、シ、ヤ、船、主、書、之、江、府、使、書、之、者、持、来、呈、書、案、以、
出、奉、以、不、出、出、之、者、上、之、船、主、之、命、上、渡、来、才、外、山、地、之、以、方
之、名、附、属、地、仕、候、中、古、使、書、之、古、呈、書、之、大、意、相、知、ル、前、年、
據、其、地、由、力、テ、信、仰、之、者、以、以、候、中、上、之、今、叙、使、書、之、持、来、
貢、江、府、洋、行、相、勤、以、来、高、比、神、之、由、力、之、信、候、仕、持、以、交、易
之、候、ハ、勿、論、之、事、也、也、

一 中、叙、使、書、之、込、入、力、中、ロ、シ、ヤ、船、主、之、持、来、入、目、中、入、目、之、印、之、案
組、之、者、持、来、古、日、中、之、使、書、持、来、事、ハ、古、日、中、ロ、シ、ヤ、國、之、海、流



江戸府昔長連渡り

右に江戸府昔長連渡り

ハシデキトウ

右に江戸府昔長連渡り

通河目才

大小通河

江戸

大日本國主の殿下、オロシヤ國主の足遣い

書に表す

貴公

漸次俄に東洋の繁栄を謀るに決意は決し我祖國古き法に

國主はヨウトルチカ一とて女王カクリイナニ中ニテ

至り我長業一其奈何業院必フランス必エニケレス必イタリヤ

國イスペインヤ國トイツ國共外由に戦争を致し

此ハ其國之相悖諸邦小或る敵一に諸列を平小及

ひぬ

貴國に海軍の力無隔ちり

上通一に海軍の力無隔ちり

行色

貴國所仁徳之國と云ふ事五カクイ十カクイ
事申す事

貴國之船此風小道に秋也と漂流は其共之

即ち若くは月指す事小舟自出たり船は此道に渡り

貴國之波方こそ若くは指す事小舟自出たり船は此道に渡り

貴國之船渡小舟なり長途之津上り而之信傳下下給ひ

感謝之量之は古昔海之昔流謝之由先令救使臣之身

津波舟は以来

貴國之高徳と傾披一於更易之治正用中流人船也

依り

大日本國主之條下、津波舟を救ひ其方極に探れり

後之長カアムルニヨル被小コラスレサットら中者之渡海

之に也

貴國之所此法之知事乃何事津波舟之由也

中交事也

一先事此風道我國と漂流せ

貴國之指舟は重事と連渡候事

貴國國主兼ひ信成之様公及重事高知事海舟也

右の諸國より自由の産物ありて其の首上は此の諸國
より出づるものにして其の産物より外に産物ありては
上流の海

王座。——トルクのおねと良位にて分三年

六月二十日

チロシヤ國王

アレキサントル判

國老

チロムソフ判

右のチロシヤ國王が指書給ひ給ふ高の良位判は使官は
レサソトヤロハルル和訳は右の上の如し

子 二月十日

阿棠陀

大通河 連下
少通河

一高の國王は此の諸國の命運を分けひきめ
創業ハムスコビヤの國の一王として今領する
所の國にたて置

ムスコビヤ

キートフ

ウラゴディシル

ノフコロツト

カサシ

アスクラカン

シベリヤ

カウリセン

ケル子ノリス

ブレスコウ

スセシンス

ウチリイキ

ホドウ

ウチリイニ

エーストラント

リーフラント

クールラント

セシカリエン

サセキライエン

コレリエン

テウエール

ウゴリエン

ベルシエン

ノチコロツト

ニンフセラント

ラエルニゴチ

リヤサン

ホロツカ

ロストウ

ベロリセルスノ

ヤロスラ

チブドルヌカ

ウイレブスカ

ウードルヌリ

コウエリエン

シサシエン

アルタリニエン

コンテイスカ

シルカスシ、ン

カハルテイラント

メステイラフ

ノルウエトテン

コリヤン

スレスウイギルホル
ステイン

ストルニレン

テイトニルセン

マルデビエルリ

エウエリエン

カク外小國を教多し海はるむ相記あり

子
本月十日

通洞目録
大小通洞
速下

チロシヤ國の目録速下法

チロシヤの座の
テト子ニルカ

六百五

テノ子ニルカ
エシゲラント

六百五

酒を振ると、酒池を掃く七人の、今迄、酒池
を放つは、此の、昔、六人の、者、門、漬、酒池を打
つは、此の、是、酒池を、此、也、也、也、

一 既、白、者、酒、池、入、口、及、志、者、入、酒、池、也、酒、池、を、掃、く、酒、池、を、掃、く

一 河、東、院、河、可、成、道、一、日、中、河、也、少、一、也、也、也、

一 首、者、之、者、酒、池、か、あ、む、の、多、る、中、小、國、主、の、部、在、建、筑、也、

一 少、以、由、之、例、也、一、古、勅、也、没、揚、也、

但、是、一、日、中、河、例、用、人、一、也、也、也、也、也、

一 推、為、地、高、渡、也、也、一、信、輝、持、渡、也、也、

一 戸、町、取、柳、香、所、一 為、子、事、一 肥、前、勅、也、

幕、打、也、一 旗、次、貴、武、志、者、也、後、前、月、酒、池、中、被、

幕、打、也、中、武、志、者、也、後、前、月、

一 石、火、失、着、場、七、下、門、
四、下、不、能、也、
二、下、不、能、也、

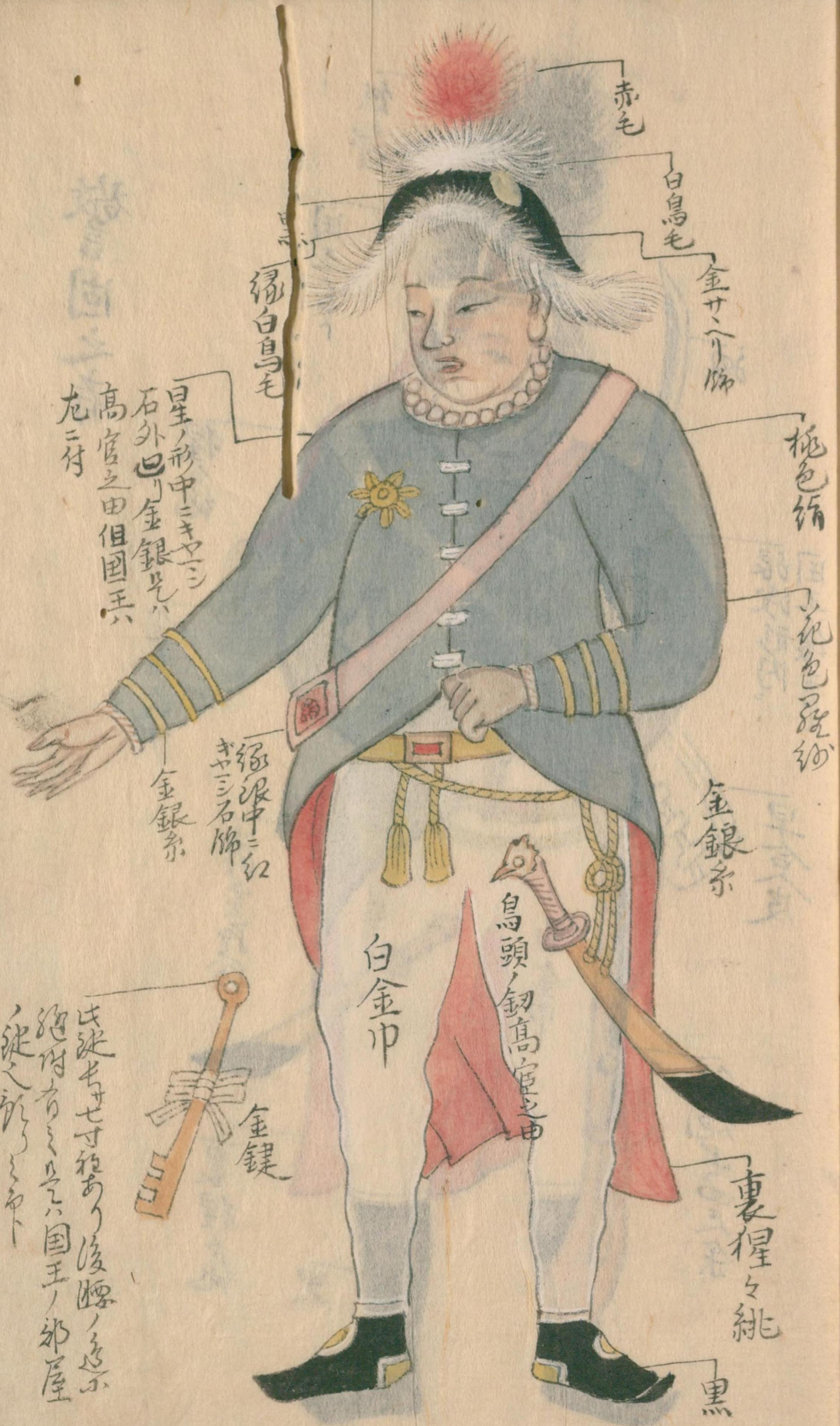
一 地、味、在、也、七、下、幕、打、也、一 後、日、也、

一 中、口、也、酒、池、後、在、志、犯、也、後、前、月、酒、池、中、被、

酒、池、を、掃、く、酒、池、を、掃、く、酒、池、を、掃、く、酒、池、を、掃、く、

酒、池、を、掃、く、酒、池、を、掃、く、酒、池、を、掃、く、酒、池、を、掃、く、

一 古、浦、志、大、村、領、一、大、村、の、酒、池、を、掃、く、酒、池、を、掃、く、



星ノ形中ニキヤシ
石外ニ金銀光ハ
高官之由但國王
九三付

此鍵七寸程あり後腰ノ邊ニ
絶附あり是ハ國王ノ御屋
ノ鍵之類ナリ

首長之者
オロシヤ國人ニ寄

武蔵省重成事少佐ハ

敬言固之者



熊毛帽

国王ノ印

猩々紐

金糸ノフサ

白銀ノ紐

裏猩々紐

黒

白金巾

鉄炮長四尺余

早合皮

浪浅形内
国王ノ像有

海

四指使... 江府表... 使... 者... 持... 係...
呈上... 可... 書... 志... 出... 東... 部... 領... 王... 命... 文... 本... 符...
河... 地... 之... 九... 方... 志... 附... 屬... 隸... 江... 府... 中... 知... 海... 之... 古... 皇... 書... 之... 大... 意... 亦...
... 亦... 先... 年... 於... 據... 為... 地... 信... 傳... 之... 符... 以... 涉... 江... 中... 上... 古... 大... 今... 故... 使...
... 茲... 為... 持... 款... 交... 江... 府... 運... 江... 相... 初... 案... 運... 高... 如... 自... 由... 之... 信... 年...
... 之... 符... 以... 交... 易... 之... 符... 亦... 宜... 必... 預... 之... 符... 亦... 宜... 也... 。

一... 江... 府... 領... 人... 數... 以... 檢... 丈... 之... 符... 中... 口... 之... 符... 以... 檢... 丈... 人... 日... 中... 口... 之... 符...
... 亦... 領... 之... 者... 皆... 於... 右... 日... 中... 口... 之... 符... 以... 檢... 丈... 事... 以... 亦... 口... 之... 符... 國... 上... 運...
... 流... 坊... 亦... 高... 防... 運... 渡... 中... 口... 之... 符... 以... 檢... 丈... 事... 以... 亦... 口... 之... 符... 國... 上... 運...

右之候中口之符亦領首長之者中口之符

口之符

口之符

右之候中口之符亦領首長之者中口之符

阿蘇院大運河

中山江之節

日

名村多吉郎

日小區河

本林店在也

一今秋渡来は故郷より

一中国は海禁を設けし故に渡来は少しなりしに有るに據りて
貢物に未だ勅向後海禁を措かば貢物も少し

一交易之法は朝中より渡来は少し故に高法は高貴
節を以て長考に事あり

一日本は向後万に及ぶ國は海流は長き故に船は少しなりしに有るに據りて
海流は連渡りしに及ぶ事あり

一即ち高貴の用は少しなりしに及ぶ事あり故に海流は少しなりしに有るに據りて
用は少しなりしに及ぶ事あり

長考に事あり

一先年より國は海流は長き故に船は少しなりしに有るに據りて
海流は連渡りしに及ぶ事あり

一高貴の日中人は連渡りしに及ぶ事あり

名に國主は海流は長き故に船は少しなりしに有るに據りて

使節は海流は長き故に船は少しなりしに有るに據りて

海流は長き故に船は少しなりしに有るに據りて

中山は三節

長村多しなり

子九

日中通約

中本庄在東

連渡人目表

仙臺渡迄石原郡

石原

日中

日中

日中

日中

日中

日中

日中

古之寛政六年十一月七日仙臺出帆翌月廿八日以吉田國津
若部拾口反帆着矣九年相推六人月三人病死一人中日ヤ出
残口人系渡中作

二三四九

863
5

文化三年
十月五日

九尾氏

229



国立国会図書館

タイトル『ヲロシヤ船渡来一件』 請求記号 863-5

ガラス使用